

広報紙で振り返る

一平成6年一

たはらの歩み 1994年

小選挙区比例代表並立制導入を軸とする「政治改革関連4法」成立
中華航空機、名古屋空港に墜落
羽田連立内閣・村山連立内閣成立

- 1月 香川県丸亀市から田原町へ国体旗の引継ぎ式
- 2月 田原町総合体育館でNHK「のど自慢」全国に生放送
- 3月 田原リゾート開発株式会社白谷地先公有水面埋め立て工事完了
- 4月 藏王山展望台（建て替え）オープン
田原町埋立処分場完成受け入れ開始
- 10月 第49回国民体育大会わかしやち国体（9人制バレーボール男子・女子）開催
三河田原駅（建て替え）完成
- 11月 田原赤石土地区画整理事業完了

たはら歴史探訪クラブ

その4

吉胡貝塚（二）

今年9月に、文化庁の主催で「発掘された日本列島2001」という展覧会を田原町博物館で催します。昨年度日本各地で発見され、マスクをにぎわした選りすぐりの考古資料が展示されます。

ところで、大正11・12年のこと。

田原町でも人々を驚かした発見がありました。それは、当時京都大学教授の清野謙次博士が、吉胡貝塚（国指定史跡縄文時代後・晚期約300年ほど前の遺跡）から300余体の人骨を発掘し、当時の（現在でも）出土人骨数の日本一を記録したからです。なぜ、このことが当時の話題になつたのでしょうか。

明治末から大正時代にかけて日本

人の祖先について盛んに議論されていました。明治以降、近代的な学問の発達とともに、人類学者は自分の学説を証明するため、多くの古人骨標本を収集し、分析する必要がありました。したがって人類学者はこぞつて、人骨の収集を競つたのです。

清野博士が吉胡を調査しているうちに、吉胡貝塚を調査していました。博士

は「其内仄かに聞くと、小金井博士が柴田常恵氏を先導として、渥美郡（保美貝塚）に進出せられると云ふ。

好い競争者を有するのは、研究者にとっては奨励奮發の種である。小金井博士なら申分がない。ヨシ一つ正々堂々と腕比べしてやらうぞと決心した。」と著作で記しています。人骨の収集に腕比べとは、不謹慎な気もしますが、それは当時の学者たち

の学問に対する純粋な情熱と受け止められます。大正時代に日本人のルーツ探しがこの渥美半島で繰り広げられていました。この時は、人骨304例、土器、石器、骨角器など多数の発掘成果をあげました。この資料をもとに、清野博士は論文を次々に発表し、伝説中心の学説に対し、科学的に現在の日本人の祖先が石器時代人であることを主張し、今日の日本人種論の道を開いたのです。吉胡貝塚はそれに貢献した重要な遺跡なのです。

清野博士がこの時発掘した資料は、天理大学付属参考館、京都大学、埼玉県立博物館、大阪府立近づ飛鳥博物館に保管されています。縁あって、9月の展覧会にあわせ、その一部が78年ぶりに里帰りします。乞うご期待を。

●清野博士が発掘した鹿角製の腰飾（埼玉県立博物館蔵）



【人口と世帯数】

総人口	36,870人
男性	18,854人
女性	18,016人
世帯数	11,503世帯
出生	29人
転入	89人
増減	-21人
死亡	23人
転出	116人

（平成13年6月1日現在・増減は5月中）

【行政面積】82.86 km²

（平成11年10月1日現在・国土地理院調べ）

今月の表紙

「芸術なんてカンタンさ」

画家のモネは晩年、自宅に造った庭園の池に睡蓮を浮かべました。表情の移りゆく水面の美しさを描き出しましたのが、有名な「睡蓮」の連作です。ところで、現在は高い評価を得ているモネですが、長く不遇の時代があつたのをご存じですか？

芸術に「良い・悪い」はありません。大切なのはあなたの感じ方です。芸術は多数決ではありません。大勢の人が「良い」と言つても、あなたにとつてはつまらないものかも知れませんし、その逆もあります。博物館で近代美術の特別展が開催されます。普段は美術に興味のない方も、この機会にぜひどうぞ。「いいね」と感じる作品が一つでも見つかれば、素敵ですね。